



# 灯台



R7テーマ 「思いやり 考え 行動する」

重点教育目標 「生徒の未来に必要な資質・能力の育成～主体的に何事にも挑戦！～」

学校ホームページ <https://www.fureai-cloud.jp/ishikarijrhs/>



## 「苦手なことと、どう向き合うか ～ラジオと次男と ChatGPT から考えたこと」

教頭 森野 泰宏

ある朝の通勤中、ラジオ番組でタイトルにある問いかけがありました。

「心が壊れないように苦手なことはやらない」「何度も同じことが起きるから挑戦しなければならない」「仕事や学校では、努力して克服する」「プライベートでは、向き合わない」といったリスナーの回答。結果は、「克服すべき」が51%、「避けるべき」が49%。まさに拮抗していました。

その話を聴きながら、心と2つのことが頭に浮かびました。ひとつは私自身のこと。子どもの頃、私は色々なことを避けてきた。長距離走、読書、じっとしていること、周囲に合わせる、どれも苦手でした。「もう少し違う形で克服しようとしていたら、今の自分は少し違っていただかもしれない」そんなことを思いました。もうひとつは、我が家の次男（第3子）、小学校3年生のことです。野菜嫌いがはげしい、難しいことや面倒なことはすぐにやめようとします。ゲームは時間通りに終わられない。親としては「どんなことにも挑戦できる人に育ってほしい」と願っていますが、これがまた難しい。

もしかすると、他の保護者の方々も、自分のことはさておき、「子どもには克服してほしい」と願っているのではないのでしょうか。（もし違っていたらすみません！）

そこで、現代のテクノロジーに頼ってみよう、生成AI【ChatGPT】に聞いてみました。「苦手なことに向き合えない人」を支えるためには、どのような視点が必要なのか。

AIの回答は、こうでした。

### 【向き合えない人の特徴】

・失敗への恐れ・自己肯定感の低さ ・完璧主義 ・過去のトラウマや経験

### 【サポートする関わり方】

・否定せず、まず受け入れる・小さな成功体験を積み重ねる・得意なことを伸ばす・一緒にやってみる

これはまさに、現在 石狩中学校で取り組んでいる「**発達支持的生徒指導**」と重なります。生徒に寄り添い、挨拶や声掛け、しっかり褒めて認める。対話を通して、自分で考え、決定し、行動できるように促す。そんな支援の積み重ねが、子どもたちを支えていくのだと、改めて感じました。

学校でも家庭でも、子どもたちとしっかり向き合い、対話を通して「自分で決めて動ける力」を育てていくこと。それが、自己肯定感を育み、「挑戦できる人」に近づく一歩になると信じています。



## 【修学旅行～東京・横浜方面～】

首都東京で学習してきました。中心となる活動は、初日に訪問した「中央防波堤埋立処分場見学」と2日目の「グループ別自主研修」です。これまでの「総合的な学習の時間」のまとめとして、探究的課題を解決するために、訪問先を決定し学習に取り組みました。何を学んだか、新たな課題として何が見つかったかについては、文化祭でのプレゼンテーションを楽しみにしてください。



さて、学習以外にもたくさんのことを経験した3日間となりました。電車の乗り換えもその1つ。駅の構内で、JRや都営電車と様々な私鉄が入り交じっており乗り換えに苦労した人もいました。見上げれば、首が痛くなるような高層ビルやマンションが林立する景色。そして、訪問先でのあいさつやマナー、友人と協働、そして楽しい会話等、日常生活では経験できないようなたくさんの思い出が心に刻まれたに違いありません。これらの経験を忘れることなく、残りの中学校生活、そしてこれからの人生に生かし、大きく成長していくことを期待しています。



## 【第1回小中連携の日】

昨年度から本格的に動き出した「石狩中学校区小中連携教育」。今年度は、これまでに以上に3校が組織的・計画的に活動を行います。第1回小中連携の日は、石狩中学校を会場に実施しました。全体会では、本校 杉浦校長から改めて



小中連携教育の目的や意義、グランドデザインの若干の改訂について話がありました。また、推進委員を務める石狩八幡小学校田中教諭からは、今年度の計画について丁寧な説明がありました。

その後は、10の分科会毎に、それぞれの担当業務について活発な議論が行われました。

小中連携教育の目的は、小学校から中学校への移行をスムーズにし、生徒が学習や生活面でいわゆる「中1ギャップ」をできるだけ緩やかにし、より円滑に学校生活をおくれるようにすることです。具体的には、学習の系統性や指導方法の一貫性を保ち、教員同士の連携を深めることで、生徒の学習意欲を高め、学校生活における心の安定を図ります。このような目的を果たせるよう、3校の教員がつながりを大切にし、グランドデザインの「目指す子ども像」を目標に児童生徒を育成していきます。

## 【石狩八幡コミュニティスクール(CS)委員会】

今年度から新たな任期となり、冒頭、来賓としてお越しいただいた石狩市教育委員会佐々木教育長から委員の皆様へ辞令が交付されました。

全体会では、委員長に工藤様(石狩八幡小PTA会長)、副委員長に松本様(学校支援地域本部地域C)が選任されスタートしました。始めに、石狩中学校杉浦校長、石狩八幡小学校佐藤校長から令和7年度学校経営方針が示されました。



続いて、令和7年度石狩八幡CS委員会活動についても意見交流をされました。

新たな取組として、第2回CS委員会の開催にあたり、委員の皆様へ①学校給食の試食会②授業参観を行う計画を提案し承認されました。また、学校が地域から【支援】していただきたいこと、学校が地域へ【貢献】できることについて、委員が持ち帰り各自治会で周知、検討していただくことになっております。

今年度も地域とともに、子どもたちのために活動を行っていくことが確認されました。御協力どうぞよろしくお願いいたします。

## 《生徒総会&スローガン作成式!》

生徒総会が開かれ、「いじめ撲滅宣言」や「各委員会年間活動計画」などが審議、承認されました。生徒会活動や役員を中心に全校生徒が一丸となって取り組むことに大きな意義があります。51名の力を合わせて、石狩中学校をより良い学校にしていくことを期待しています。



前期生徒会スローガン「Always Challenging」は、主体的に何事にも挑戦するという気持ちが込められています。今年度、初めて「スローガン作成式」という取組が行われました。生徒会役員が作成した大きなひまわりの茎に全校生徒が花びらを付けていき完成させました。きれいな5輪のひまわりが立派に咲きました。

### 【学校からのお知らせ】

#### ① 30日(金)「第46回体育祭」 ※悪天候による延期は6月2日(月)

本校では、昨年から「チーム対抗リレー」・「玉入れ」の2種目を縦割りチーム対抗で実施しています。その他に、学年対抗のチームジャンプ(長縄跳び)、個人種目100m走+選択(ハンドボール投げor走り幅跳び)を実施します。保護者、地域の皆様、足を運んでいただき、生徒の姿に大きな声援をお願いいたします。

#### ②教職員の「働き方改革」の取組

教職員の心身の健康を保持し、児童生徒へ質の高い教育活動を推進することを目標に、働き方改革を推進しています。取組の1つとして【**定時退勤日**※下表参照】(勤務時間8時05分から16時35分)を設定し、学校全体で取り組んでいます。該当日につきましては、勤務時間終了後に「留守番電話」をセットいたします。

その他、連絡手段や配布文書、アンケートのデジタル化等保護者や地域の皆様にも御協力をいただいております。今後とも保護者、地域の皆様の御理解の程よろしくお願いいたします。

| 石狩中学校【定時退勤日】 |            |     |            |     |             |
|--------------|------------|-----|------------|-----|-------------|
| 4月           | 23日・30日    | 8月  | 25日        | 12月 | 10日・17日・24日 |
| 5月           | 7日・21日・30日 | 9月  | 3日・17日・24日 | 1月  | 14日・21日・28日 |
| 6月           | 4日・18日・25日 | 10月 | 3日・16日・22日 | 2月  | 4日・12日・18日  |
| 7月           | 9日・16日     | 11月 | 5日・13日・19日 | 3月  | 13日・18日・24日 |

